



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年2月9日

上場会社名 横浜魚類株式会社

上場取引所 東

コード番号 7443 URL <https://www.yokohamagyorui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 英俊

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部部長 (氏名) 塚本 秋宏

TEL 045-459-3800

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	16,093	4.4	207	21.5	232	19.2	151	6.2
2025年3月期第3四半期	15,415	△1.4	171	2.1	194	4.8	143	△4.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	24.28	—
2025年3月期第3四半期	22.86	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	7,013	2,662	38.0
2025年3月期	5,408	2,515	46.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 2,662百万円 2025年3月期 2,515百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期(予想)				8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想につきましては、本日公開しました「期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2026年3月期の業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,300	0.5	180	14.6	200	9.9	150	△17.2	23.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	6,290,000 株	2025年3月期	6,290,000 株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	32,649 株	2025年3月期	32,649 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	6,257,351 株	2025年3月期3Q	6,257,351 株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー ： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、企業業績向上による雇用・所得環境の改善などにより個人消費が伸び、景気は緩やかな回復基調にあります。その一方で物価高による個人消費の停滞が懸念されるなど先行き不透明な状況が続いております。

水産物流通業界におきましては、海洋環境変化による漁獲不振や円安などによる魚価の値上り、並びに人件費、物流費などの増加によるコスト増が生じております。

この様な状況におきまして、当社は市場の特色である高鮮度商品を積極的に販売した結果、売上高は16,093百万円(前年同期比4.4%増)となり増収になりました。

損益につきましては、売上高増加による売上総利益の増加並びに貸倒引当金繰入額の減少などにより、営業利益207百万円(前年同期比21.5%増)、経常利益232百万円(前年同期比19.2%増)、四半期純利益151百万円(前年同期比6.2%増)と増益になりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

(水産物卸売業)

売上高は量販店などへの売上が増加したことにより、15,958百万円(前年同期比4.4%増)と増収になりました。

営業利益は売上高増加による売上総利益の増加並びに貸倒引当金の繰入額の減少があり、物流費の増加などを吸収し、191百万円(前年同期比7.7%増)と増益になりました。

(不動産等賃貸業)

売上高は134百万円(前年同期比0.4%増)と増収になりました。

営業利益は修繕費など経費が減少したことにより、27百万円(前年同期比14.2%増)と増益になりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期会計期間末における総資産は、現金及び預金が107百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が1,176百万円増加、並びに商品が489百万円増加したことなどにより、前期末比1,604百万円増加し7,013百万円となりました。

②負債

当第3四半期会計期間末における負債総額は、長期借入金が113百万円減少しましたが、買掛金が1,427百万円増加したことなどにより、前期末比1,457百万円増加し4,350百万円となりました。

③純資産

当第3四半期会計期間末における純資産額は、主として利益剰余金が114百万円増加したことにより、前期末比147百万円増加し2,662百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月9日の2025年3月期決算短信に開示しました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	593,894	486,445
受取手形及び売掛金	2,062,452	3,239,155
商品	734,032	1,223,409
前払費用	6,090	10,268
その他	18,350	33,814
貸倒引当金	△299,232	△288,328
流動資産合計	3,115,588	4,704,765
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,002,376	930,568
その他（純額）	386,581	363,913
有形固定資産合計	1,388,958	1,294,481
無形固定資産	3,406	2,003
投資その他の資産		
投資有価証券	748,313	894,693
関係会社株式	35,645	35,645
破産更生債権等	124,315	129,593
繰延税金資産	47,030	14,664
その他	68,959	64,665
貸倒引当金	△123,806	△127,229
投資その他の資産合計	900,456	1,012,032
固定資産合計	2,292,822	2,308,517
資産合計	5,408,410	7,013,282

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
受託販売未払金	126,603	150,490
買掛金	1,440,388	2,867,400
短期借入金	100,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	159,600	159,600
未払法人税等	53,073	47,438
賞与引当金	19,827	2,036
その他	200,399	221,096
流動負債合計	2,099,893	3,648,062
固定負債		
長期借入金	241,400	128,400
退職給付引当金	320,904	341,964
役員退職慰労引当金	5,625	5,625
資産除去債務	64,704	64,948
長期預り保証金	159,927	161,427
その他	316	192
固定負債合計	792,878	702,558
負債合計	2,892,772	4,350,620
純資産の部		
株主資本		
資本金	829,100	829,100
資本剰余金	648,925	648,925
利益剰余金	821,585	935,943
自己株式	△12,653	△12,653
株主資本合計	2,286,956	2,401,314
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	228,682	261,346
評価・換算差額等合計	228,682	261,346
純資産合計	2,515,638	2,662,661
負債純資産合計	5,408,410	7,013,282

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	15,415,819	16,093,348
売上原価	14,021,459	14,669,198
売上総利益	1,394,359	1,424,149
販売費及び一般管理費	1,223,318	1,216,297
営業利益	171,040	207,851
営業外収益		
受取利息	352	1,953
受取配当金	21,472	24,187
雑収入	4,716	394
営業外収益合計	26,541	26,535
営業外費用		
支払利息	2,804	2,248
雑損失	113	132
営業外費用合計	2,918	2,380
経常利益	194,663	232,006
特別利益		
固定資産売却益	—	143
投資有価証券売却益	—	6,245
特別利益合計	—	6,389
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税引前四半期純利益	194,663	238,396
法人税、住民税及び事業税	37,305	67,743
法人税等調整額	14,316	18,750
法人税等合計	51,621	86,493
四半期純利益	143,042	151,902

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	108,601千円	108,325千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第3四半期累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産物 卸売業	不動産等 賃貸業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,281,822	133,996	15,415,819	—	15,415,819
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,281,822	133,996	15,415,819	—	15,415,819
セグメント利益	177,333	24,288	201,622	△30,581	171,040

(注) 1. セグメント利益の調整額△30,581千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産物 卸売業	不動産等 賃貸業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,958,851	134,496	16,093,348	—	16,093,348
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,958,851	134,496	16,093,348	—	16,093,348
セグメント利益	191,061	27,743	218,805	△10,953	207,851

(注) 1. セグメント利益の調整額△10,953千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。